

SS OCT で診える網膜疾患サイン

- 第 126 回日本眼科学会総会 ランチョンセミナー 18【LS-18】
- 開催日時：4 月 15 日（金） 12:40 ～ 13:40
- 会場：第 10 会場 大阪国際会議場 12F グラントック

座長

秋山 英雄 先生（群馬大学）



座長のことば

Swept Source OCT によって、硝子体から脈絡膜・強膜までの詳細な観察が可能となりました。それに伴って、網脈絡膜疾患の病態研究が急速に進んでいます。

本セミナーでは、「OCT en Face 画像を用いた黄斑円孔の形態と予後解析」について田中先生から、また「飛蚊症、OCTで診てみませんか？」というタイトルで後部硝子体剥離に伴う網膜裂孔の可能性について板倉先生よりご講演いただきます。

多くの先生方にご参加していただき、本セミナーが皆様の日常診療に役立つことを切望いたします。

演者

田中 寛 先生
（京都府立医科大学）



演題

「OCT en face 画像を用いた
黄斑円孔の形態と予後解析」

演者

板倉 宏高 先生
（前橋ミナミ眼科）



演題

「飛蚊症、
OCT で診てみませんか？」